

# 有形文化財 彫刻

市指定

あみださんぞんぞう  
阿弥陀三尊像

所在地：横田1122

所有者・管理者：善福寺



中尊の阿弥陀如来像（像高47.2cm）は左手は刀印を結び、右手は緩やかに掌を正面に向けます。左脇待の観音菩薩像（像高33cm）、右脇待の勢至菩薩像（像高33cm）は八角形の宝冠を戴く典型的な善光寺式阿弥陀三尊像です。三尊共に銅像で鍍金が施されています。制作者は不明であるが、勢至菩薩像の背面に、文永11年（1274）の銘が刻まれ、制作も優秀であり、鎌倉時代の貴重な仏像として指定されました。

## 〈善光寺式阿弥陀三尊像〉

信濃善光寺の秘仏である本尊を模したものを善光寺式阿弥陀三尊像と呼んでいます。

全国的に同じ形式の仏像の作例が見られます。三尊ともに立像であること、両脇待の多くは宝冠を持ち、三尊の後ろにある大型の光背が特徴です。



勢至菩薩像背面刻銘